

学校関係団体、産業関係団体等との情報交換等でいただいたご意見とその対応について

資料7

1 教育内容、資格に関すること

No.	ご意見	対応
1	総合学科、工業科以外の新学科を設置しても良いのではないか。	地区意見交換会や地区懇談会、パブリック・コメント等において、いただいたご意見の一つ一つを参考としながら、教育委員会会議で慎重に検討を重ね、第2期実施計画における下北地区統合校の学科を「総合学科3学級、工業科2学級」と決定したものです。なお、統合校開設時における新しい学科の設置は想定しておりません。
2	統合校での学びや将来の進路等が不明確であるため、中学生が夢を持って受検したいと思うよう、教育方針や授業内容、特色ある活動等を明確にしてほしい。	下北地区統合校の学科及び学級数は総合学科3学級（現在の大湊高校の4系列を基本）、工業科2学級（機械科、電気・エネルギー科）と決定しており、教育内容は現在の大湊高校及びむつ工業高校のものを基本とし検討を進めることとしておりますが、具体的な教育課程の編成等については時代の変化に合わせたものとする必要があることから、統合校開設の2年前となる令和7年度に設置する開設準備委員会における検討内容等を踏まえ、令和8年度に設置する開設準備室において決めていきたいと考えております。
3	大湊高校とむつ工業高校の授業を引継ぐだけでは足りない。新しい学校では新しい教育をすべき。	【令和7年度開設準備委員会】
4	統合校開設に当たっては、新たな総合学科、工業科をつくるという気持ちで臨んでほしい。	統合校の新たな名称、目指す人財像、特色ある教育活動等について協議するとともに、統合の対象となる学校間における連携の在り方や各校のあゆみを伝えるための資料の展示等について情報共有します。
5	統合校の校歌や校訓等は、統合校に1年目に入学することとなる中学生から公募する等、オープンに検討してほしい。	【令和8年度開設準備室】
6	学科が決まっているとしても、コンピュータや原子力等を学べるコースの設置等を検討すべき。	開設準備委員会における協議結果を踏まえ、統合校の教育課程の編成、制服デザイン委託、校歌・校章作成、校則・校務分掌・学校要覧など校内諸規程の整備等、開校に向けた具体的な準備を進めます。

No.	ご意見	対応
7	<p>開設準備委員会を設置し、統合校の教育内容等について協議する令和7年度には、統合校を受検する子はすでに中学2年生である。教育内容等の検討時期があまりに遅いと懸念している。</p>	<p>N O 2~6参照</p>
8	<p>令和7年度の開設準備委員会における協議の際、学校づくりや教育内容、校舎の在り方について議論する余地がなくなっている。今から検討委員会を設置し、地域とともに議論を進めてほしい。</p> <p>統合校には未来がかかっている。1 + 1 = 2ではなく、3にも4にもなるような学校にしてほしい。幅広く地域と統合校に係る議論を行い、長きに渡って愛される学校になってほしい。</p>	

No.	ご意見	対応
9	<p>統合校における「第三種電気主任技術者認定校」は維持できるのか。</p>	<p>現在もむつ工業高校では「第三種電気主任技術者認定校」の要件に必要な「26単位を越えた電気工学等に関する科目」を履修しているところです。この認定校については、統合校でも維持したいと考えております。</p>
10	<p>第三種電気主任技術者認定校の要件の1つとして、電気工学等に関する科目を26単位以上開設しなければならない。必履修科目や専門科目もある中、更に学科の枠を越えた科目履修は本当に可能なのか。</p>	<p>学科の枠を越えた科目履修は可能と考えており、工業科の生徒が進学のために理科や数学等を選択したり、総合学科の生徒が工業について学ぶための科目を設定したりすることが想定されます。なお、具体的な教育課程の編成等は、令和7年度の開設準備委員会での検討を経て、令和8年度に設置する開設準備室において検討することになります。</p> <p>課題研究の授業においては、工業科の生徒が健康福祉系列と連携することで、ユニバーサルデザインについて学び、ものづくりに生かすことなどが想定されます。</p> <p>また、授業以外の教育活動においては、総合学科と工業科という異なる2学科が併置されることで、様々な個性や価値観に触れたりすることができるようになり、互いに切磋琢磨できる環境が整備されると考えております。</p>

No.	ご意見	対応
11	大湊高校で今まで取れなかった放射線や危険物等に係る資格は取れるようになるのか。	資格の種類によっては、受験資格が年齢制限等のみであり、教育課程等による履修の制限によらず、生徒自身の学習で取得することが可能となっており、現在の大湊高校においても取得可能な資格もあります。そのため、統合校においても、資格の種類によっては取得可能となると考えております。
12	大湊高校で取得に取り組んでいる資格を知りたい。	なお、現在の大湊高校では、日本漢字能力検定、実用英語技術検定、実用数学技能検定、日本商工会議所主催簿記検定、全国商業高等学校協会ビジネス計算実務検定、商業経済検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定、ITパスポート、介護職員初任者研修、家庭科技術検定に対応しています。
13	授業以外の放課後や長期休暇中の講習等を活用し、地域の企業を講師に呼ぶ等して、資格取得ができる環境を整えてほしい。	<p>むつ工業高校においては、現在、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科の特性を生かし資格取得のための指導体制を構築し、講習を実施しています。各学科では、次の技能士資格取得に向けた講習会を実施しています。 <p>○機械科 機械加工（普通旋盤作業・マシニングセンタ作業・数値制御旋盤作業）や機械検査（機械検査作業）、機械保全（機械系保全作業）、溶接技能講習</p> <p>○電気科 電気工事士、電気工事施工管理技士、第三種電気主任技術者</p> <p>○設備・エネルギー科 作業建築配管（建築配管作業）、管工事施工管理技士、電気工事士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備・エネルギー科1・2学年の生徒が新エネルギーに関する知識・技術習得のための講習会や出前授業を受講してます。 <p>大湊高校については、NO11・12参照。</p> <p>以上のような取組を統合校においても実施し、様々な資格が取得できるよう環境を整えていきたいと考えております。</p>

No.	ご意見	対応
14	工業科と総合学科の統合の理念が実現できるように、生徒、保護者、教員の要望が叶えられるように、お金と人を惜しみなく投資してほしい。	開設準備委員会で検討する事項については、いただいたご意見を繋げていきたいと考えます。
15	両校の部活動や特色ある教育活動を統合校にもしっかりと引き継いでほしい。	開設準備委員会での検討事項以外のものでも統合に向けた準備が必要であると考えております。
16	他地区と違い、下北地区には私立高校がなく、中学生は公立高校しか選択できない。主役は子どもたちである。そのことを念頭において、統合校開設を進めてほしい。	いずれも統合対象校間で共通理解を図ったり、準備を進めたりすることが必要と考えられます。
17	生徒が大学を卒業してむつに戻ってくる仕組みができた。この良いムードを壊さないように、統合校をしっかりと作ってほしい。	※開設準備委員会で検討する事項については、NO2～8参照。
18	統合校はたくさん挑戦し、成功と失敗をたくさん経験できる高校にしてほしい。今の高校は限られたカリキュラムの中で教育活動を行っており、生徒の失敗経験が少ないと感じている。地域との関わりを増やし、アウトプットの機会を増やしてほしい。	

No.	ご意見	対応
19	統合校は間口を広げ、地域との活動をたくさん行う高校にしてほしい。	<p>いただいたご意見については、令和7年度の開設準備委員会で検討することとなりますので、準備委員会に繋げていきたいと考えております。</p>
20	<p>県立高校の授業において、地域や民間が授業に関わることはできないか。高校生のうちに色々なことを経験させたいと思うし、地域の色を出した教育もできるのではないかと思っている。</p>	<p>両校では、現状においても各校とも地域との連携を密にしながら魅力ある教育活動を展開しています。</p> <p>現在、生徒一人一人の「ふるさとあおもり」への愛着や誇り、夢を抱き未来に向かって挑戦する意欲を醸成するために、地域資源や人財を活用して、高校の所在地及び自身の居住地域等について理解を深める学習である「あおもり創造学」に取り組んでいます。</p> <p>令和5年度の「あおもり創造学」の大テーマは、</p> <p>大湊高校は「下北HEROES～地域で働くヒーローを探せ～」、</p> <p>むつ工業高校は「ジオパークって何だ!?～下北ジオパークからはじめる地域理解～」です。</p>
21	<p>地域のことを学ぶために、地域の歴史、地域の地理、地域の経済等といった、「地域」という文字をつけた授業を、統合校では増やしてほしい。</p>	<p>【これまでの地域と連携した教育の例】</p> <p>大湊高校：むつ市包括支援センターによる出前講座や実習</p>
22	<p>総合学科と工業科における決められた科目だけではなく、地域に必要な科目を一緒に考えて作ってほしい。</p>	<p>むつ工業高校：JAMSTECとの共同研究</p>

2 情報交換、開設準備委員会に関すること

No.	ご意見	対応
23	このような情報交換を何度も重ねないと、お互いに信頼関係は得られないだろう。そのためにも、何度も場を設けることをお願いしたい。	下北地区統合校の開設に向けて、質問や具体的な御意見をいただくため、学校や地域の関係者等と個別に情報交換を行い、対話をしてきたところです。
24	今の小学校の保護者たちへ統合校に係る説明と意見聴取をしてほしい。	今後は、令和7年度に設置する開設準備委員会に対し、下北地域の意見を届けることを目的として設置された下北地区統合校検討委員会で、地域の御意見を伺うとともに、これら
25	地域住民との情報交換や地域住民へ広く説明会を行う予定はあるか。	の御意見を開設準備委員会に繋げていきたいと考えております。
26	情報交換会は県教育委員会の中でどういう位置づけなのか。どういう根拠で行っているのか。	
27	情報交換会で出た意見等を開設準備委員会に繋ぐと言っているが、繋ぐという担保はあるのか。	
28	学科・学級数が決まっているのなら、情報交換会で意見を出しても、取り入れられないのではないか。情報交換会は意味があるのか。	
29	開設準備委員会の委員構成について、個人までもう決まっているのか。県教育委員会にとって都合の良い委員だけにならないよう、各業界の代表者を入れる等、公平な委員構成にしてほしい。	第1期実施計画期間における統合事例では、開設準備委員会の委員構成として、統合の対象となる高校の校長や、後援会等の外郭団体代表、関係市町村教育委員会教育長等で構成したところです。
30	開設準備委員会の委員構成について、学校関係者だけでなく、地域も入れてほしい。その上で、地域の要望を広く吸い上げてほしい。	第2期実施計画の統合における開設準備委員会の委員構成については、県教育委員会会議において、産業界関係者などにも参加していただき、地域の意見を丁寧に伺いながら、開設に向けた準備を進めるよう提案があったところであり、このことも踏まえながら、委員構成を検討して参りたいと考えております。

3 施設整備に関すること

No.	ご意見	対応
31	<p>令和4年度から情報交換、令和7年度に開設準備委員会、令和8年度に開設準備室、令和9年度に統合校開校、という教育内容等を検討するスケジュールに対し、施設整備は令和4年度に改築基本計画、令和5年度から設計・工事開始となっている。具体的な教育内容が決まらないのに、施設整備を進めることはできないのではないか。</p>	<p>下北地区統合校の学科及び学級数は総合学科3学級（現在の大湊高校の4系列を基本）、工業科2学級（機械科、電気・エネルギー科）と決定しております。</p> <p>校舎等の施設整備については、統合校の学科及び学級数を踏まえ整備する予定であり、現在の大湊高校の人文科学、自然科学、健康福祉、情報ビジネス及びむつ工業高校の機械、電気、エネルギーに関する教育活動を基本としつつ、両校から意見を伺いながら、計画的に行うこととしております。</p> <p>なお、主に2学年からの実習に必要となる機械・器具等の設備整備については、開設準備委員会による教育活動の検討等を踏まえ、対応することとしております。</p>
32	<p>基本計画を今年度行うこととなっているが、基本計画を作ってしまったら、令和7年度から開設準備委員会で具体的なことを決めていくと、学校の先生の意見は聞かないことになるのではないかと。</p>	<p>基本計画は主に建築基準法等の法的制限の確認、校舎等の配置計画やこれに基づく整備スケジュール等、技術的な内容について検討・整理するものであり、施設整備を所管する課と学校とで複数回打合せをしながら基本計画を策定してきたところです。</p>
33	<p>改築基本計画が完成した後、計画について説明した上で、意見交換をしてもらえるのか。 校舎の見た目等、どういった校舎になるのか気になるところ。</p>	<p>令和5年6月29日に開催された第1回下北地区統合校検討委員会において、基本計画について説明したところです。</p>

No.	ご意見	対応
34	同窓会が自由に使用できる部屋があったり、歴代校長の写真を展示したり、記念物品等を保管・展示できる部屋は確保できるのか。	記念物品等を保管・展示する部屋については、これまでも整備してきておりますので、統合校においても予定しております。 なお、部屋の活用方法については、今後、学校と相談することとしております。
35	むつ工業高校においては、新校舎を今のグラウンドの位置に新築する場合、新校舎と生徒会館が離れることになり、利便性が心配である。生徒会館は5年前に建てたばかりであり、取り壊すのはもったいない。生徒会館を生かせるように検討してほしい。	むつ工業高校の生徒会館の取りこわしは考えておりません。 一方で、生徒の利便性が損なわれないよう、今後、学校と相談することとしております。
36	むつ工業高校の敷地は狭い。あそこで間に合うのか。市道が狭い。統合すると、スクールバスと生徒の送迎車で渋滞になるだろう。今でも混雑している状況である。校地をバイパス沿いに移すことを要望したい。	下北地区統合校の設置場所については、教育委員会会議を経て、生徒の通学利便性を考慮し、むつ工業高校の校地として第2期実施計画が策定されたものです。 なお、基本計画では、渋滞が緩和されるよう校舎等を配置し、生徒が敷地内において安全に乗降できるよう動線が計画されたところです。
37	大湊高校は野球部が強く、野球場の設備も整っているが、むつ工業高校の野球場は狭い。大湊高校の野球場を活用する手段等は考えているか。	基本計画では、むつ工業高校の敷地内に野球場を整備することとしています。 一方で、大湊高校の施設を活用することについては、教育上の効果等について、今後、学校と相談することとしております。

4 その他

No.	ご意見	対応
38	「大湊」の名前は校名に残してほしい。	校名は、令和7年度の開設準備委員会で検討する予定です。いただいたご意見については、開設準備委員会へ繋がります。
39	他の統合校はこのように同窓会間でやり取りした等の事例を示してほしい。また、両校同窓会で協議等する時には、県教育委員会にも入っていただきたいと思う。	両校の後援会とも一般財団法人（H20年12月施行の法人改革により、両後援会は一般財団法人に移行済み）であり、両後援会とも行政庁（青森県）の監督下から外れていることから、解散や合併等について、関係する法律等に基づき、両後援会同士での検討を進めることとなります。
40	統合校の生徒が後援会の恩恵を令和9年度から受けられるよう、県教育委員会には新後援会の設置等に係る検討にご協力いただきたい。	<p>なお、これまで、統合した学校における開設準備室の業務整理状況を両校に情報提供しており、両校ではそれを参考に進めることとしております。</p> <p>両校間で話し合っ進めていくものと考えていますが、相談等については可能な限り対応させていただきますので、いつでもお寄せください。</p>
41	教育委員に、下北の地域のこと、大湊高校及びむつ工業高校がどういう教育をしているのか、ということを見に来てもらって理解してほしい。	令和3年7月に教育委員が両校を視察し、第2期実施計画を検討したものです。なお、その後教育委員となった委員も両校を視察しております。
42	大湊高校、むつ工業高校、高校改革室で徳島県の先進事例を視察したそうだが、私たちも統合校の先進事例を視察してみたい。そのような機会をつくってほしい。	<p>先進事例については、両校が令和4年9月29日、30日に徳島県を視察し、令和4年10月27日の大湊高校・むつ工業高校の合同情報交換の際に紹介したところです。</p> <p>今後の先進事例視察については、高等学校教育改革推進室では、現段階で計画しておりません。</p>